

花咲く家族 (1947)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 82分

初公開日 1947/05/13

【解説】

棚田吾郎の脚本を千葉泰樹が監督したホームドラマ。キネマ旬報ベストテン第9位、都民映画コンクール第3位。公開時には折原哲子と三條美紀の初顔合わせがアピールされた。

戸田篤子は夫亡き後、女手一つで三人きょうだいを育て上げた。厳格に育てられた篤子は、開放的な長男の嫁と折り合いが悪かった。次男の嫁だけは自分に合う女性をと、篤子は親戚の恵子を田舎から呼び寄せるが、次男にはすでに恋人がいた。しかも恵子が長男の嫁の兄と付き合っていることが分かり、篤子はショックを受けてしまう。長男と口論になった篤子は家を飛び出し、自分の弟の家に身を寄せた。ある日、亡き夫の墓参りに出かけた篤子は、そこで子供たちの姿を目にする。

【クレジット】

監督 千葉泰樹

企画 市川久夫

脚本 棚田吾郎

撮影 峰重義

美術 高橋康一

音楽 斎藤一郎

出演	滝花久子	篤子
	若原雅夫	徹也
	折原哲子	多枝子
	千明明子	貞子
	三條美紀	綾子
	小林桂樹	謙治
	町田博子	糸や
	吉川公一郎	逸平
	橘喜久子	つね子
	植村謙二郎	信明
	相馬千恵子	恵子